



うさぎぐみだよ



社会福祉法人尚徳福祉会 生麦保育園

2019年12月号 発行

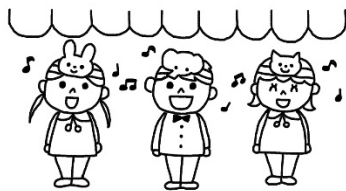
急に寒い日が続き、そろそろ冬へと突入。子どもたちも少しずつ冬支度になりつつありますね。そんな中、一部の元気な子はまだ半そでTシャツ一枚で遊んでいます。「寒くないの?」「風邪ひくわよ」と声を掛けますが「平気だよ。」と元気な声。しばらく様子を見つつ、たくましく育っていく姿を見守っています。

師走の月。みんなで風邪等吹き飛ばすつもりで楽しく乗り切っていこうと考えています。



—お楽しみ会—

自分のやりたい役を自分で決め、初めて歌ったうたに自然と手振りが付いてきました。遊びの途中鼻歌のように歌をうたい、とても楽しみにしていたお楽しみ会でした。ところが、初めての小学校体育館舞台上でのリハーサルでは、緊張して声がなかなか出ませんでした。お兄さんお姉さん達の元気さを見て、次の日の練習では今まで以上の声を出し、頑張っていたうさぎ組さん。衣装を着けての練習は嬉しそうでした。みんなで協力して元気に歌い、楽しんでいました。本番をご覧になった保護者の皆様はどんな感想を持たれたでしょうか? 朝早くからご協力ありがとうございました。



—製作—

秋から拾い集めたドングリや松ぼっくりを製作に使っています。ドングリを画用紙にボンドでつけて作品を作りました。松ぼっくりはツリーになる予定です。みんな楽しみながら少しずつ進めていきます。お楽しみに。



—水栽培—

ヒヤシンスの水栽培を開始しました。球根を見た子どもたちは、玉ねぎ、野菜、等々ユニークな回答が返ってきました。少し出ている根を見せて上から「お花が咲くのよ」と知らせると、驚いたような表情に。本来土の中で根をはり、芽が出ることを知らせ、根が出るまでは暗い箱の中で寝かせてあげることを知らせると「触っちゃダメ」と友達同士で話し合っていました。スケッチブックに絵を描く子もいました。三日後に水を取り替える為箱から取り出すと根が出始めていました。テーブルに並べると「すごい」と言いながらテーブルに顔を付けてのぞいていました。ヒヤシンスとうまく言えず何度も繰り返し言い直す子もいてとても和んだひとときでした。どんな花が咲くか、経過を見ながらみんなで観察して行こうと思います。



—保護者の皆様へ—

・個人面談はお忙しいところ、御出席ありがとうございました。

*今年もご協力ありがとうございました。来年もよろしくお願ひします。

—お願い—

・本格的な冬に向い、インフルエンザが巷では流行の兆しが聞こえてきました。うさぎ組は寒さの中、積極的に戸外に出て遊べるように心がけていこうと考えています。時々上着が無かったり、着替えが無かったりすることが無いようもう一度ご確認をお願いいたします。また、名前の記入もお願いいたします。